

「朗読の森」の

ちょっと怖くて朗読会#6 不思議な話

令和6年6月30日(日)開催

ご好評の人気シリーズ第6弾。母の愛情が霊魂となって巻き起こる不思議な話
女(妻)の愛情が霊魂となり夫の前に現れる不思議な話の短編二作。
初心者にも聴きやすい小川未明と少し聴きごたえのある上田秋成の作品を
ご紹介いたします。どうぞお気軽にご参加ください。

～ 作品紹介～

『牛女』 作:小川未明

ある村に、背が高く、耳の聴こえない女とその子供二人で暮らしていた。女は「牛女」と呼ばれているが、耳が聴こえないので分からない。ただ、自分のために子供が辛い思いをしないように、一生懸命働き、子供を大変可愛がった。しかし、病にかかって牛女は死んでしまった。大人になった息子は故郷を離れるが、暫くの後に帰郷しリンゴ園で働くようになる。そんな息子の姿を母は山の影として見守り続ける。

『浅茅が宿』 作:上田秋成 雨月物語より

戦国時代の下総国に暮らす勝四郎と妻。元は裕福な家だったが、働かずにいて生活が貧しくなった勝四郎は、気持ちを入れ替え商人とともに京都へ行く。商売は上手く行ったが、その帰り道で山賊に襲われ財をすべて失った。さらには各地の戦乱に巻き込まれ、地元に戻ったときには7年の月日が過ぎていた。妻を残した自宅に戻った勝四郎は不思議な出来事に遭遇する。

日時: 6月30日(日)14:00～15:00

費用: 無料

場所: しのざき文化プラザ3階講義室

定員: 40名(申し込み順)

中学生以上対象

申込: 6月17日(月)14時より TEL:03-3676-9071

お電話又はインターネットにて「しのざき文化プラザ事務局まで」



↑ ネット申込はこちらから

主催: しのざき文化プラザ

「朗読の森」の
宮部みゆき作品より
ちょっと怖くて
不思議な朗読会#6

観覧
無料

2024年
6月30日(日)開催

～出演者紹介～

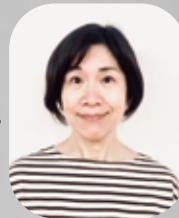


おかざき
岡崎 ちか子 (朗読の森・主宰)

千葉県市川市在住。演劇、ミュージカル、即興演劇を中心に活動。各種専門学校、声優養成所等の演技講師、フィットネスクラブ等(ボイス・アクト、ストレッチ)講師。2004年より「朗読の森」主宰。即興演劇を取り入れた朗読講座は老若男女楽しめる。江戸川区を中心に図書館、学校、イベント等、地域密着の公演は人気が高い。

ふくとに きみこ
福谷 紀美子(音楽担当)

大阪府出身、江戸川区在住。朗読の森、現メンバーの最古参。会社勤務の傍ら、即興演劇(インプロ)と出会いパフォーマンス活動開始。朗読表現だけではなく、即興演奏、音楽制作も積極的に行う。



しまがき いずみ
嶋垣 泉

三重県出身、江戸川区在住。声優養成所卒業後、テレビ、映画、ラジオ等出演とともに朗読の森のメンバーとして活動、講師アシスタントも行う。個性的なキャラクターは、老若男女どんな役でも演じる元気印。主な出演、テレビ「世界ナゼそこに?」「壮絶!芸能人闘病記」、映画「感染列島」。

むとう
武藤 ひとみ

江戸川区在住。高校生の時に朗読の森と出会い、現在大学。朗読の森の即興演劇(アクトクラス)でも持ち前の明るさと元気で存在感を示す。鍛えた発想力・創造力を活かし、エッセイや小説を執筆。毎年恒例の発表会では、自作の作品を朗読し大好評。



おおした りょうこ
大下 良子

茨城県出身、千葉県在住の公務員。学校の図書館で司書として働く傍ら、朗読の森の活動に参加。いつか趣味のケーキやパン作りを活かした朗読会のできるBookCafeの経営をしてみたいと日々修行中。

朗読の森プロフィール

朗読の森は江戸川区を中心に活動しています。朗読、朗読劇、インプロ(即興演劇)を楽しく学びながら学校、図書館、劇場公演、そしてワークショップ開催等、多岐にわたり活動。子供から大人まで様々な作品の楽しさを伝えています。現在コロナ対策を万全にマスク着用と少人数制のクラスを実施中。

しのざき
文化プラザ

都営新宿線・篠崎駅西口直結

開館時間／9:00～21:30

江戸川区篠崎町 7-20-19 3階 TEL.03-3676-9071(代)

www.shinozaki-bunkaplaza.com

主催：江戸川区・しのざき文化プラザ指定管理者篠崎SAパブリックサービス

